

- (1) 工事コストの低減
- ③ 設計方法の見直し

プレハブ式下水処理場（POD）の推進

— 京都府八木町川東浄化センター —

【施策の概要】

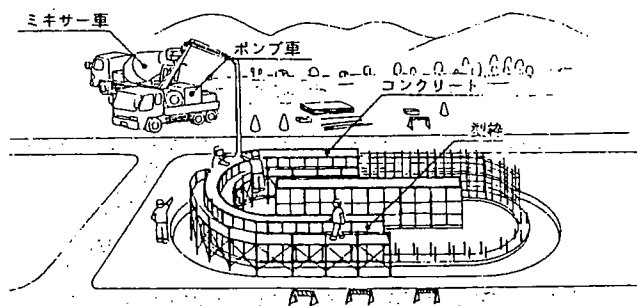
- ・ 小規模の下水処理場において、プレキャスト部材を用いて施設を建設するPOD法の採用を推進することにより、小規模下水道施設における資材等の低減によりコスト縮減を図る。
- ・ PODは、処理能力が300～1,200m³/日の範囲で100m³/日毎に標準図を作成し、設計に要する費用・時間を削減する。また、施設本体は工場製作されたプレキャスト部材や汎用品を採用することで建設工期の短縮や建設費の削減を図るものであり、地方公共団体では、経済的な小規模処理場としてPODに対する評価が高まっています。

【施策のポイント】

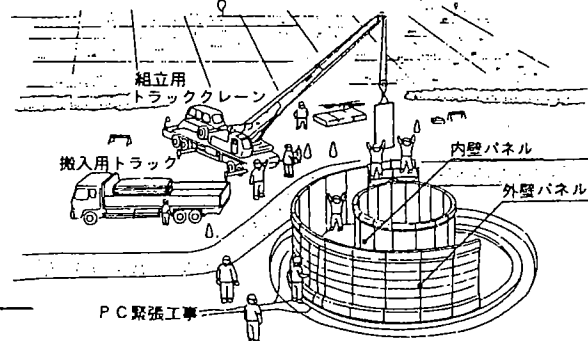
- ・ 約12%のコスト縮減が図られます。
- ・ PODの設置については、処理水量や搬入道路等に制限があります。

【施策の実施状況・イメージ図】

[現場打オキシレーションディッチ]



[プレハブオキシレーションディッチ]



※上記の他 29ヶ所